

## 6 月出荷マリーゴールドの品種特性および夏季の露地適応性評価

岡澤立夫・黒川康介  
(園芸技術科)

---

【要 約】「ホットパック」シリーズはコンパクトで小輪・多花で、「サファリ」シリーズは花が大きい。高温期の露地適応性は品種や植栽密度で異なるが、「サファリ イエロー、ディスコ イエロー」などは植栽密度にかかわらず高温期でも開花が維持される。

---

### 【目 的】

マリーゴールドは春花壇の定番品目であるが、東京 2020 大会の夏花として生産者や種苗会社からの関心が高い。現在、様々な花色や花型の品種が発売されているが、夏の需要期での利用拡大が期待されるため、梅雨時期の降雨や高温・ムレ等に強い品種の育成が求められている。そこで、マリーゴールドの4月下旬播種6月中旬出荷作型のポットでの品種特性および高温期の露地適応性を調査し、夏花としての利用可能性を明らかにする。

### 【方 法】

2015年4月24日に市販播種用土(商品名:TM-2)を充填した288穴セトレイに18品種(表1)を播種し、展開葉が2枚時に3.5号黒ポリ鉢へ3本植えて鉢上げした。定植用土は農総研(花)の標準用土とし、基肥は用土100ℓあたり成分量でN=54g, P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>=160g, K<sub>2</sub>O=54gを施用した。試験区は1区30鉢の2反復とした。露地への定植は6月23日に90cm×90cmあたり1区を5株植え(5株区)、2区を9株植え(9株区)となるように行った。生育・開花調査は6月23日、7月21日、9月4日の3回実施した。

### 【成果の概要】

1. 「ホットパック」シリーズは株張24~27cm, 株高14~17cmとコンパクトな草姿で、花径が5cm程度と小輪で、かつ開花数が10輪以上と他の品種と比べ多かった(表1)。一方、「ディスコ」シリーズは株張30cm以上, 株高25cm以上とボリュームのある草姿であった。「ストロベリー ブロンド、ディスコ オレンジ」は開花数が8輪以上と多く、「サファリ」シリーズなどは花径が7cm程度で花が大きかった。また「ホットパック」シリーズの平均開花日は5月下旬と早かったが、「サファリ イエロー、同 オレンジ」はそれよりも1週間程度遅れた。
2. 定植から約1ヵ月後の7月21日時点ではほとんどの品種で、植栽密度にかかわらず定植直後と花面積率が同等か、それ以上であった。一方、9月4日時点では「サファリ」シリーズを除き9株区よりも5株区で花面積率が高く、「サファリ イエロー、ディスコ イエロー、デュランゴ イエロー、ボナンザ オレンジ」では夏季を通じて開花が維持され、高温期の露地適応性が高かった(表2)。

### 【残された課題・成果の活用・留意点】

1. 夏花利用での品種特性を明らかにするため、来年度もペンタスで同様の試験を実施する。

表1 供試品種の生育・開花特性 (ポット)

品種名	種苗 <sup>a</sup> 会社	株張 (cm)	株高 (cm)	調査項目		
				開花数 (輪)	花径 (cm)	平均開花日 (月日)
サファリ イエロー	タ	31.8	25.2	3.8	6.8	6月6日
サファリ オレンジ	タ	28.7	26.8	4.8	7.1	6月7日
サファリ タンジェリン	タ	35.0	27.4	6.5	7.3	5月31日
ストロベリー ブロンド	ミ	31.7	23.0	9.7	6.6	6月1日
ディスコ イエロー	タ	31.5	25.1	5.2	6.7	6月7日
ディスコ オレンジ	タ	35.2	26.5	8.3	7.3	5月31日
デュランゴ イエロー	ミ	34.2	27.5	2.1	7.1	6月4日
デュランゴ オレンジ	ト	29.0	21.3	3.7	6.9	6月11日
デュランゴ ビー	ミ	28.3	21.3	3.7	6.1	6月11日
デュランゴ レッド	ミ	33.4	27.5	5.0	6.7	6月5日
ファイヤーボール	ミ	33.2	21.1	4.5	7.0	6月4日
ホットパック オレンジ	ミ	24.1	14.6	12.4	4.5	5月28日
ホットパック ゴールド	ミ	26.6	16.9	12.8	5.3	5月31日
ホットパック ハーモニー	ミ	25.3	16.0	10.9	4.9	5月27日
ホットパック ファイア	ミ	26.4	16.5	16.0	5.6	5月31日
ボナンザ イエロー	タ	31.7	24.7	7.5	6.3	6月1日
ボナンザ オレンジ	タ	36.9	24.4	2.5	7.0	6月2日
ボナンザ ゴールド	タ	34.7	22.9	3.3	6.3	6月4日

a) タ:タキイ種苗, ミ:ミヨングループ, ト:東京花壇

表2 植栽密度の違いによる時期別花面積率と露地適応性評価

品種名	7月21日		9月4日		露地適応性 <sup>a</sup>
	5株	9株	5株	9株	
サファリ イエロー	174.9	173.7	155.0	153.9	○
サファリ オレンジ	83.2	93.0	82.3	184.6	×
サファリ タンジェリン	76.1	100.4	57.3	109.2	△
ストロベリー ブロンド	103.8	113.3	55.7	18.2	×
ディスコ イエロー	235.0	206.4	209.7	156.8	○
ディスコ オレンジ	113.3	96.1	126.4	72.4	△
デュランゴ イエロー	161.5	102.9	178.1	101.2	○
デュランゴ オレンジ	139.4	142.4	86.5	75.6	×
デュランゴ ビー	179.3	156.8	58.9	75.9	×
デュランゴ レッド	125.4	137.8	61.9	71.4	×
ファイヤーボール	198.3	210.6	148.3	62.1	△
ホットパック オレンジ	435.8	122.3	234.9	76.6	△
ホットパック ゴールド	130.3	119.8	64.2	64.3	×
ホットパック ハーモニー	120.1	139.2	134.1	51.7	△
ホットパック ファイア	105.0	119.5	135.4	26.6	△
ボナンザ イエロー	139.9	112.9	126.0	88.9	△
ボナンザ オレンジ	180.5	110.1	115.4	116.5	○
ボナンザ ゴールド	228.9	229.4	97.9	68.6	×

注1) 花面積率は80cm角の中で花が占める面積の割合を photoshop CS6 で画像解析することで算出

注2) 6月23日に調査した花面積率を100とした

a) 7月21日と9月4日に、定植時と比べ花面積率が高く維持されているかを評価した。○:植栽密度にかかわらず高く維持される, △:植栽密度によっては高く維持される, ×:定植時よりも低くなる